

事業番号	0	9	8
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	観光推進事業					担当部	地域活性化営業部				
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降					担当課	シティプロモーション課				
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	18	展開方向	2							
予算区分	一般会計	款	07 商工費	項	01	目	03	大	04	中	01

2. 実施状況

小牧市観光振興基本計画に掲げる基本理念を達成するため、さまざまな観光施策を推進した。

○小牧山さくらまつり及びこまき信長夢夜会の開催
 来場(所)者数 小牧山さくらまつり 99,784人(92,592人) こまき信長夢夜会 5,000人(2,000人)
 ○小牧駅前観光案内所の運営を委託 来所者数 5,742人(4,873人) ※()は平成29年度
 ○同計画に定めた観光推進施策の実施のため小牧市観光協会への事業費補助
 ・定期観光ガイドツアーの実施…毎週土曜日実施 参加者数83名
 ・貸し切り観光ガイド 79件 1,786名
 ・観光誘客のためのプロモーション活動 商談会 2回 イベント出店 10回
 ・推奨品等販売PR活動 13回
 ・ホームページのリニューアル ホームページ閲覧数 66,071(H29 72,203)
 ・教育旅行機関向けパンフレットの作成(5,000部)
 ・PRグッズ作成販売
 (麒麟の花押キーホルダー300個、麒麟の花押コースター500枚、麒麟の花押ハンドタオル500枚)
 ○観光案内所看板作成 設置場所:市民四季の森
 ○名古屋コーテンの観光資源化を推し進めるため小牧商工会議所へ補助

事業内容
 名古屋コーテンを使用した商品化・メニュー化に取り組む事業者に対し奨励金を交付3件、商品共同開発4商品、イベント出展によるPR、パンフレット配布、「こまちゃん」着ぐるみ貸出、ホームページ・フェイスブックの管理運営 など
 ・「訪れたい人」「住みたい」「住み続けたい人」を増やすため、様々な地域資源の魅力を効果的に市内外へ情報発信(プロモーション)した。
 平成30年度メディア等情報提供回数:メディア108回、雑誌社4回、その他10回 計122回
 ※その他…観光PRグッズ・パンフレットの送付回数

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	財源	千円	12,100	36,418	39,908
	一般財源	千円	12,100	36,418	39,908	41,252		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	計(A)	千円	12,100	36,418	39,908	41,252		
	対前年比	%	-	301.0%	109.6%	103.4%		
	(当初)予算額	千円	12,100	41,367	43,202	44,755	44,436	
人件費	正職員	人	1.5	1.5	1.5	1.5		
	正職員(平均人件費)	千円	11,229	11,229	11,229	11,229		
	その他職員	人	0	0	0	0		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0		
	計(B)	千円	11,229	11,229	11,229	11,229		
事業費合計(C=A+B)		千円	23,329	47,647	51,137	52,481		
指標	成果指標	主要観光施設・資源の利用者(イベント)	目標	-	-	-	-	450,000
		実績	446,224	478,496	282,592	443,784		
	主要観光施設・資源の利用者(イベント以外)	目標	-	-	-	-	1,550,000	
		実績	1,586,920	1,507,237	1,414,700	1,499,318		
	活動指標	観光推進事業の実施数	目標	-	-	-	-	25
			実績	-	18	28	25	
		メディア等情報提供回数	目標	-	-	-	-	150
			実績	-	157	120	122	
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<p>○数値の分析等 主要観光施設・資源の利用者(イベント)が前年に比べ161,192人増加している主な要因は、小牧市民まつりで平成29年度に雨天などにより減少した来場者が回復した(168,000人増)ことによるものと考えられる。またイベントの利用者数は、天候などにより大きく左右されてしまうが、小牧山さくらまつりが前年度に比べ約6,200人増加した要因としては、小牧山さくらまつりを平成30年より小牧山春のキャンペーン(H30.3.9～H30.5.31)として期間を拡張し、期間中に小牧山で実施されるイベントを包括してプロモーションしたことが影響していると考えられる。 反対に減少がみられたものとしては市民四季の森の来場者が前年に比べ約16,000人減少している。これは過去5年間の推移をみても減少傾向にはあるものの、記録的な猛暑による外出を控えたことによる影響がみられたものと考えられる。</p> <p>(* 成果指標である主要観光施設・資源の利用者数については暦年で表示)</p> <p>○今後の取り組み・方向性 イベントの利用者数の増減は天候や開催期間等により大きく左右される。そのためイベント時以外においても恒常的に施設・資源への利用者を増加するための施策を中心に検討する必要があると考える。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○令和2年には小牧市観光振興基本計画の改定を予定している。改定に際しては、現行計画の評価・検証をし、将来を見据えた持続可能な観光振興に向けて新たな施策を実施していく。 ○また、現計画期間中においても小牧市観光協会や観光関連事業者と連携してマーケティングやターゲットングを実施し、従来からのプロモーションの方法を見直してより有効なプロモーションに切り替える。</p> <p>計画の改定後は計画した施策に沿って事業費を計上するため、現時点では今後の事業の方向性(ボリューム)を判断することはできないが、現計画に設定した観光推進施策の実施において、当事業の方向性は維持とする。</p>				